

報道関係各位

【開催概要】



メカニックデザイナー

大河原邦男展

MECHANIC DESIGNER OKAWARA KUNIO EXHIBITION

佐川美術館 4/17-6/16

1. 《展覧会用新作描き下ろしイラスト》部分 2015年
©タツノコプロ ©創通・サンライズ

公益財団法人佐川美術館（所在地：滋賀県守山市）では、2016年春季企画展「メカニックデザイナー 大河原邦男展」を開催いたします。

「タイムボカンシリーズ ヤッターマン」「機動戦士ガンダム」「装甲騎兵ボトムズ」…。誰もがあこがれ夢中になったアニメに登場する数々のロボットデザインを手がけたのが、日本初のメカニックデザイナー、大河原邦男（おおかわら くにお）です。1972年に「科学忍者隊ガッチャマン」でデビューを果たした後、「タイムボカンシリーズ ヤッターマン」「機動戦士ガンダム」「装甲騎兵ボトムズ」などの作品に次々と参加し、ロボットアニメにおける“メカニックデザイナー”という職業を世に確立しました。現在も第一線で活躍しながら、工業メーカーや地方自治体との仕事を手がけるなど、活躍の場を広げています。

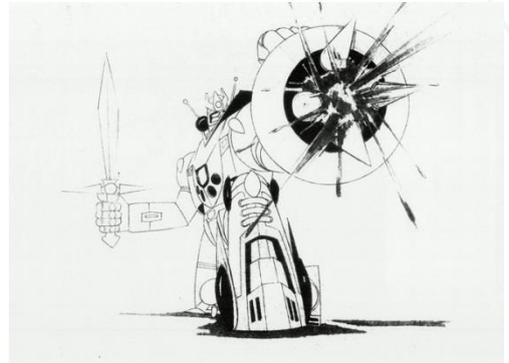
本展では、大河原によるカラーイラストやアニメの設定資料などを一堂に展示し、大河原の40年余りに渡る全仕事を振り返ります。本邦初公開の貴重な資料や描き下ろし新作も加え、大河原のデザインの真髄に迫ります。

企画内容(展示構成)

第1章 メカニックデザイナーとしての黎明

1972年放送の「科学忍者隊ガッチャマン」でメカニックデザイナーとしての第一歩を踏み出した大河原邦男。彼は如何にしてメカニックデザインと出会い、その才能を開花させたのでしょうか。第1章では当時の資料から若き日の大河原の活動をご覧ください。

《「合身戦隊メカンダーロボ」
アニメ制作用 メカンダーロボ 最終デザイン》
1976年 ©ワコープロ



第2章 リアルロボット大フィーバー

ロボットアニメの黄金期であった80年代。ガンダム、ダグラム、ボトムズなど、現実感・重厚感ある大河原邦男のデザインは多くの少年達を虜にしました。第2章では70年代後半から80年代の最も多くのメカを描いた時代を振り返ります。

《「太陽の牙ダグラム」
販売ポスター用イラスト》
1983年 ©サンライズ

第3章 ヒーロー、コミック、そしてリアル

90年代に入ると、幼稚園児からハイエイジまで幅広いファンに向けたアニメーションが登場します。それに伴い大河原邦男のデザインもバラエティ豊かなものとなっていきました。第3章では多彩なメカを生み出した90年代以降の活躍を紹介します。

《「デフォルメガンダム」
「SDガンダムカードゲーム モビルパワーズ」
カード用イラスト》
1998年頃 ©創通・サンライズ



第4章 21世紀、永遠のスタンダードへ

デザイナー歴44年を迎える2016年。現在も大河原邦男は第一線で活躍しています。最終章ではアニメに加え、地方自治体のマスコットや自動車のデザインなど、異業種にもそのフィールドを広げている大河原デザインの“今”をお見せします。

《吉谷機械製作所 次世代消防車コンセプトイラスト》 2013年

みどころ

・劇場版「機動戦士ガンダム」の宣伝に使われたポスター原画を公開

80年代のロボットアニメブームの火付け役となった「機動戦士ガンダム」。テレビ放映後も人気は衰えず、テレビ版を再編集した劇場版が全国の映画館で上映されました。その劇場版宣伝用に描かれた原画を公開。

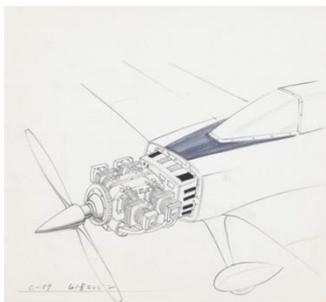


《劇場版「機動戦士ガンダムⅡ 哀・戦士編」ポスター用イラスト》

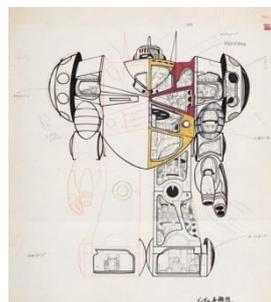
1981年 ©創通・サンライズ

・アニメファン必見の設定資料や未公開資料を大公開

本展開催にあわせて描き下ろした新作イラストをはじめ、アニメ製作におけるアニメファン垂涎の設定資料や未公開資料を多数公開。



《「科学忍者隊ガッチャマン」
アニメ制作用 G1 号エンジン
(第 46 話)最終デザイン》
1973年 ©タツノコプロ



《「ゴワッパー5 ゴーダム」
アニメ制作用ゴーダム
内部図解》
1975年頃 ©タツノコプロ

・展覧会限定のオリジナルグッズを販売

展覧会開催にあわせ限定ガンプラ「MG 1/100 ストライクフリーダムガンダム メカニックデザイナー 大河原邦男展 ver.」など、本展でしか手に入れないファン必須アイテムを豊富に取り揃えています。



《MG 1/100 ストライクフリーダムガンダム
メカニックデザイナー 大河原邦男展 ver.》(税込 6,480 円)
©創通・サンライズ

展覧会実施概要

- ◆ 名 称: 「メカニックデザイナー 大河原邦男展」
- ◆ 会 期: 2016年4月17日 [日] ~ 6月16日 [木]
- ◆ 会 場: 佐川美術館 〒524-0102 滋賀県守山市水保町北川 2891
TEL : 077-585-7800 FAX : 077-585-7810

- ◆ 開館時間: 午前9時30分 ~ 午後5時(入館は午後4時30分まで)
- ◆ 休 館 日: 月曜日
- ◆ 入 館 料: 一般¥1,000(¥800) / 高大生¥600(¥400) ()内は20名以上の割引料金
中学生以下は無料 ※ただし保護者の同伴が必要
※ 専門学校・専修学校は大学に準じる
※ 障害者手帳をお持ちの方(手帳をご提示ください)、付添者(1名のみ)無料

- ◆ 主 催: 公益財団法人佐川美術館、産経新聞社
- ◆ 特別協力: アニメディア・ドット・コム、稲城市、エクスマキナ、江崎グリコ、ゴンゾ、サンライズ、シンエイ動画、スタジオぴえろ、創通、タカラトミー、タツノコプロ、円谷プロダクション、東映、名古屋鉄道、日本アニメーション、バンダイ、バンダイナムコエンターテインメント、吉谷機械製作所、ワコープロ
- ◆ 後 援: 滋賀県、滋賀県教育委員会、守山市、守山市教育委員会
- ◆ 企画協力: アドシステム
- ◆ 協 力: SGホールディングス株式会社、佐川急便株式会社、佐川印刷株式会社

展覧会記念イベント

※詳細は公式ホームページをご覧ください。

展覧会開催を記念して、大河原邦男先生によるトークショーとサイン会を実施します。

・4月17日(日) オープニングトークショー&サイン会

- 時間 10:30~ トークショー
- 11:00~ サイン会 (50名限定)
- 13:30~ トークショー
- 14:00~ サイン会 (50名限定)

・5月28日(土) トークショー

- 時間 14:00~

・5月29日(日) サイン会

- 時間 10:30~ (100名限定)

※各イベントは参加費無料。先着順。

※サイン会への参加は、当日の9:30よりオフィシャルショップで販売する展覧会公式図録を購入された方に限ります。参加希望の方は、購入時にお声掛けください。参加券をお渡します。なお、参加券は当日のサイン会のための配布になります。

広報用画像



2. 《展覧会用新作描き下ろしイラスト》

2015年 ©サンライズ ©創通・サンライズ ©タツノコプロ ©タツノコプロ・読売テレビ 2008



3. 《劇場版「機動戦士ガンダムⅢ めぐりあい宇宙編」
ポスター用イラスト》

1981年 ©創通・サンライズ



4. 《「装甲騎兵ボトムズ」『デュアルマガジン』NO.4
(1983年)表紙用イラスト》

1983年 ©サンライズ

●広報用写真について

主な出品作品中の画像をご使用ください。使用につきましては、画像データをご用意しております。
ご希望の方はお手数ではございますが、同封の**作品画像使用申込書(プレゼント用招待券申込付)**に必要事項をご記入の上、当館までファックスでお申送ください。

なお、作品画像につきましては、当該展覧会以外でのご使用はお断りしておりますので、宜しくお願い申し上げます。

* そのほか貸出希望の作品がございましたら、担当者までお問い合わせください。

●プレゼント用招待券について

読者・視聴者・リスナーへのプレゼント目的にかぎり、本展覧会会期中有効の**ご招待券を10枚まで**ご提供させていただきます。

ご希望の方は同封の**作品画像使用申込書(プレゼント用招待券申込付)**に必要事項をご記入の上、当館までファックスまたは下記担当者宛にメールでお申送ください。

◆交通のご案内:

お車ご利用の場合

駐車場有 70 台、美術館入館者は無料

- 名神高速瀬田西 IC より湖周道路経由約 30 分
- 名神高速栗東 IC より守山栗東線経由約 30 分
- 名神京都東 IC より湖西道路 (真野 IC)・琵琶湖大橋経由約 30 分

鉄道ご利用の場合

- JR 琵琶湖線守山駅より路線バス 佐川美術館下車(約 30 分)
- JR 湖西線堅田駅より路線バス 佐川美術館下車(約 15 分)

◆連絡先◆

公益財団法人佐川美術館

〒524-0102 滋賀県守山市水保町北川 2891

TEL:077-585-7800/FAX:077-585-7810

企画担当学芸員:井上 英明 (いのうえ ひであき)

h_inoue005@sagawa-artmuseum.or.jp

メカニックデザイナー

大河原邦男展

MECHANIC DESIGNER OKAWARA KUNIO EXHIBITION

作品画像使用申込書

佐川美術館 宛 FAX / 077-585-7810

申込日 2016年 月 日

作品画像の露出・掲載等ご使用にあたっての注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 申請された方法、目的以外には使用しないでください ● 掲載誌・紙は資料として1部以上お送りくださいますよう、お願い致します ● その他の画像が必要な場合は、企画担当者までご連絡ください
使用作品	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. 《展覧会用新作描き下ろしイラスト》部分 2015年 ©タツノコプロ ©創通・サンライズ <input type="checkbox"/> 2. 《展覧会用新作描き下ろしイラスト》 2015年 ©サンライズ ©創通・サンライズ ©タツノコプロ ©タツノコプロ・読売テレビ 2008 <input type="checkbox"/> 3. 《劇場版「機動戦士ガンダムIII めぐりあい宇宙編」ポスター用イラスト》 1981年 ©創通・サンライズ <input type="checkbox"/> 4. 《「装甲騎兵ボトムズ」/『デュアルマガジン』NO.4(1983年)表紙用イラスト》 1983年 ©サンライズ <p>※ご希望の作品にチェックを入れてください。 ※タイトルクレジット及びコピーライトを必ず記載してください。</p> <p style="text-align: right;">計 _____ 枚</p>
媒体名	
貴社名	
ご芳名（ご所属）	(_____)
ご連絡先	ご住所：(〒 _____) e-mail: TEL: _____ FAX: _____
発行（掲出）予定日	_____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 号
使用形態（○印）	Web サイト / 印刷物（カラー / モノクロ）
招待券希望枚数	読者プレゼント用として、招待券 _____ 枚 ※ 枚数は10枚以内でお願いいたします。ご了承ください。